

## 資料 5

### 周防大島町病院事業局からの意見照会

- 1 令和3年度、更なるコロナウイルス感染拡大の影響により、患者数は2年度より減少している。

特にコロナ受入協力医療機関である東和病院では、入院患者はコロナ患者の空床確保病床の影響に加え、患者数は減少しており稼働率は60%を満たない状況である。

コロナ患者受入に備えた看護体制を常に整える必要があり厳しい経営が続いている。

外来患者も2年度と同様に推移しており増加の傾向はみられない。

ウィズコロナ、ポストコロナの状況・展望についてご意見を伺いたい。

- 2 令和元年12月に策定した再編計画の実行により令和2年4月に橘病院を17床削減し、19床の有床診療所へ転換したが、その後看護職員の予期せぬ休暇等で夜勤人数が確保困難な状況となり令和3年2月より休床としている。

再開時期について検討しているが、東和病院の患者数減少もあるため重点支援区域として、レセプトデータによる疾患別患者構成、救急、立地について分析を行い、入院患者については、大島病院及び東和病院でカバー出来るとの報告を受けた。

橘医院の病床（19床）についてご意見を伺いたい。